

島根県看護協会

出雲支部会員数 2165名

ひだまり



vol.66

2021年3月発行
 島根県出雲市下古志町1574-4
 島根県立こころの医療センター
 TEL (0853) 30-0556 FAX (0853) 30-2000
 発行責任者 和田 祐子

第37回看護活動交流会開催

出雲市での災害発生に備え、
 医療処置を抱えながら
 地域で過ごす生活者への支援を考える

講師

出雲市役所 健康増進課 主査 (統括保健師)

福岡 紀子氏

出雲保健所 医事・難病支援課企画員 (保健師)

土井久美子氏

出雲看護サービスセンター所長 (訪問看護認定看護師)

伊藤久美子氏



令和2年10月31日(土) 朱鷺会館において開催しました。

前年度の活動交流会でのテーマ「出雲で災害がおこったら」に続いて、実際に出雲市で発災した際の具体的な動きを行政、病院、訪問看護事業所との連携について、3名の講師により経験を踏まえた講義の後に6グループに分かれて意見交換を実施し、各グループの代表による発表会を行いました。

災害発生時の病院機能や看護師としての役割を理解し、それぞれの立場での役割と今後の課題について考えることができました。

昨年度の内容に引き続いており、今後シリーズ化してほしいなどの意見がありました。

活動交流会に参加して



出雲市民病院
井戸由紀子

訪問看護ステーションいずも
静岡 雅美

看護活動交流会に参加し出雲市での災害発生時の支援体制の現状や課題など様々な学びがありました。災害という枠の中でも水害や震災などと共に今年大きな影響を与えたコロナ禍での対応はとて大変なことだと思いました。

グループワークの中で病院・在宅・教育の現場でこういった取り組みがあるのか意見交換し特に感じたことは災害訓練のつみ重ねとその意識を医療者・生活者が共有することの大切さです。減災の備え・被災してもケアが継続できる準備・近隣の協力も得られるような自助力を高める支援、これらを私達が積極的に発信することが重要だと思いました。

医療処置が必要な在宅療養者への災害支援は地域ケアで重要な課題であり、今回研修に参加しました。行政や訪問看護ステーションで取り組まれている災害対策の現状について講義があり、公助の体制等学びを深めると共に日頃から災害を想定し、自助力・共助力を高めるために自施設においてまず何ができるかを考え、見直す機会となりました。グループワークでは各施設からの取り組みや今後の課題など活発な意見交換がありました。行政と地域の支援チームが協働し、在宅療養者を支える支援を今後も考えていきたいと思います。

出雲保健所
青戸 有子

島根県立大学出雲キャンパス
祝原あゆみ

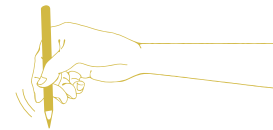
講演は、市の避難行動要支援者名簿の種類や状況、訪問看護の利用者個別の詳細な災害支援等を改めて知る良い機会となりました。グループワークでは、備蓄、訓練、情報の見える化等、日頃からの災害に備えての準備と発災時に各々の立場で出来ることは何かを考えておくことの必要性を再認識しました。

「視野を広げて色々なことを知る・学ぶ」「足を運んで顔の見える関係づくりを行う」「PDCAにより取組を前に進める」ことを大切にし、今後も関係者の皆様と協力しながら取組を進めていきたいです。

今回、出雲地域の看護職の方々が日頃どんな備えをされているのか学びたく参加しました。講師の方々から行政の備えの状況や訪問看護の具体的な備えの実際を、グループワークでは医療機関の備えの実態を学びました。私自身は保健師職能であり、臨床の方々のお考えを聴くことができたのは貴重な経験でした。いつ災害が起こるか分からない昨今、看護基礎教育に携わる者としては「平常時にできないことは災害時にもできない」ことを再認識し、看護職として基本的な技術や能力をしっかりと身につけた卒業生・修了生を送り出したいです。

アンケートからの感想

- 災害に対して意識することができた。発生時の動きについて現状と課題が分かった。
- 実際の現場を踏まえての講演で参考になった。災害支援の生の声を聴くことができた。
- 今の病院の現状を振り返ることができた。ナースとして自分に出来ることを考えたい。
- 病院、病棟で勉強会をしようと思った。
- 病院の初期対応だけでなく、地域にも目を向けたい。
- いろいろな施設、年代、職種の方と交流を図ることができた。
- 各機関の役割を聞く中で、いろいろな体験を聞くことができた。
- いろいろな機関とどのように連携をとっていくべきか考えることができた。
- グループワークの時間がもう少し欲しかった。
- 病院・施設・地域が連携していく必要があると思った。
- 在宅医療や訪問看護を受けている方の災害時の対応を考えることができた。
- 状況によって対応が変わるが、いろんな状況を考えておかないと実際に動けないと感じた。スタッフだけでなく患者さんも平常ではないため、どのように安全を確保するのか、ということが大切だと思った。
- 大きな災害が少ない地域であるため、横での繋がりが少ないことが分かった。もっと出雲圏内での訓練が必要だと思った。



看護活動交流会を企画して

島根大学医学部附属病院
高橋 真紀

「出雲市での災害発生に備え、医療処置を抱えながら地域で過ごす生活者への支援を考える」と題し、出雲保健所より土井保健師、出雲市役所より福岡保健師、出雲看護サービスセンターより伊藤認定看護師の3名を講師としてお迎えし、講義をしていただきました。

講義では保健所や市役所の役割や訪問看護ステーションの立場からの災害対策を学ぶことができました。医療機関だけでなく、行政、教育機関からも多数の参加があり、グループワークでは活発な意見交換がされていました。去年に引き続き「災害対策」についての看護交流会でしたが、それぞれ違う立場での災害対策を知ることができ、今後の医療活動に役立てることができる有意義な研修会になったと思います。ご参加下さった皆様、ありがとうございました。



令和3年度 島根県看護協会出雲支部 総会・看護研修会のご案内

1 日時：令和3年6月5日(土)
総会…9:00～9:50
看護研修会…10:00～11:30

2 場所：朱鷺会館

3 看護研修会について

1) 内容

いま島根が面白い！
～全国最先端の地から～

2) 講師

島根県松江市在住のローカルジャーナリスト
田中 輝美氏

日本看護協会は、保健・医療・福祉制度のパラダイムシフトに応じて「生活モデル」重視への転換に対応する看護提供体制を構築するとともに、新たな体制に対応できる看護の専門性の向上を図っています。

医療の視点からも地域包括ケアシステムの構築など様々な地域へのアプローチが行われています。また医療以外の地域づくりとして近年では「※関係人口が増加するような支援」が注目されています。

生活を支える様々な支援体制を理解することは看護の質を高めることに繋がると考え本研修を企画しました。

是非ご参加ください。

※移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない地域や地域の人々と多様に関わる人々のことを指します。

※新型コロナウイルス感染状況によっては研修方法を変更する場合があります。

出雲市内の看護職を志す看護学生さんに 応援メッセージを届けました

令和2年12月下旬、島根大学医学部看護学科、県立大学出雲キャンパス、出雲医療看護専門学校それぞれにおいて、頑張って授業・実習等に励んでおられる看護学生さんに、支部役員及び支部会員からのメッセージを色紙にして届けました。

各教育機関からは、応援してくださる看護の先輩方がいらっしゃることを誇りに思う、優しさ溢れるコメントは大変励みになるという感想をいただきました。

今後出雲で未来の地域医療を支える人材に育てていただきたいと願っています。コロナ禍を一緒にのりこえていきましょう。



支部会計に関するご報告

島根県看護協会はH23年に公益社団法人化しました。現在、県協会から支部会員数に応じた予算の配分があり、会計処理は県協会にて監査されています。公益化以前は支部毎に会費を徴収し独自に会計処理がなされており、当時の繰り越し金が保管状態にありました。

今年度、コロナ禍において、この残金の有意義な活用方法を検討した結果、先輩方の大切な会費を出雲圏域の看護職育成の活動にあてることにしました。通常とは異なる困難な環境で、看護職を目指しておられる学生の皆さんに全額マスクを寄贈させていただきました。

会員の皆様に、広報の書面でご報告させていただくと同時に、ご理解いただきますようお願いいたします。

【摘要】 サージカルマスク50枚入りX40箱(17,600円)X9ケース=158,400円

* 出雲医療看護専門学校 * 島根大学医学部看護学科 * 島根県立大学(各6,000枚づつ寄贈)

なお、今年度、コロナ禍にて活動中止となった事業に関する予算はすべて、県協会に返金する予定です。詳細は決算報告書とあわせ支部総会でご報告いたします。

ご不明な点は出雲支部 事務局までお問い合わせ下さい。

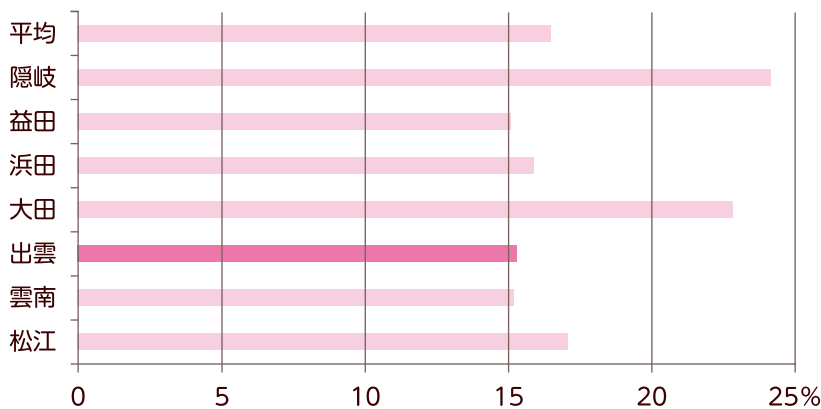
キャリアースに登録しよう！ ～簡単に登録できます～



看護の職能団体ならではの様々な特典があります。
キャリア構築を支援する会員専用のページです。
ユーザー登録すると「協会ニュース」や
日本看護学会論文集、調査研究報告などの閲覧、
文献検索のほか、研修の受講履歴の記録・管理ができます。

	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	合計
会員数	1980	363	2163	320	439	556	124	5945
登録者数	338	55	332	73	70	84	30	982
登録率	17.1	15.2	15.3	22.8	15.9	15.1	24.2	16.5

キャリアース各支部登録率



令和2年11月末現在

ユーザー登録情報

- 都道府県と、日本看護協会の登録番号
- 就業中の職種(保・助・看・准)
- 就業中の看護職免許番号
- 生年月日
- ご自身のメールアドレスと任意のパスワード



QRコードを
読みとって
ココから登録！

編集 後記

日頃より支部活動にご協力いただきありがとうございます。今年度はコロナ禍のため活動が一部中止となりました。そのような中でも感染対策を講じ、一部の活動を実施することができました。皆様のご協力に感謝いたします。今後も感染対策を行いながら、活動を継続し、皆様にご理解いただけるように担当者一同頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。まだまだ寒い日が続きますが体調管理を行い、暖かい春を待ちわびましょう。

担当：有田 裕子 田中さおり 中山まゆみ